

第58回福島県高等学校バスケットボール選手権大会 【新型コロナウィルス感染症に対応した大会ガイドライン】

(一社)福島県バスケットボール協会 U18部会
福島県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針 福島県および(公財)日本バスケットボール協会(JBA)・(一社)福島県バスケットボール協会(FBA)のガイドラインに沿って実施する。

1 大会前の対応

- (1) FBAへ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- (2) 大会参加者は、主催者が示した「ガイドライン」・「チェックリスト」等を遵守すること。
- (3) 今大会は無観客での開催とする。会場に入場できる者は、チーム関係者、大会役員、審判員、補助員、報道関係者のみとし、かつ大会当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。チーム関係者は引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャー、選手(含エントリー外の選手)、帯同トレーナー、管理職とする。
- (4) チーム責任者は上記(2)、(3)を関係者に周知する。
- (5) 大会参加者の健康状態等を把握するため、大会参加者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参すること。
参加チーム責任者は、大会当日、チーム全員の「健康チェックシート」を集め、受付に提出すること。 *詳細は、2-(1)-1)を参照
- (6) 大会前2週間以内に発熱(37.5°C以上)があった場合の対応について
 - ① 日常的に発熱(37.5°C以上)がある場合、「通院する」ように促す。
 - ② 大会当日発熱(37.5°C以上)があったり、体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。
 - ③ 2週間の期間中に発熱(37.5°C以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目 ⑨ その他(自由記述)」の枠に内容を記入する。
例1: ○月○日通院「自宅療養をして1~2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。
例2: ○月○日通院「胃腸炎による発熱」など
 - ④ 2週間の期間中に発熱(37.5°C以上)があったが医療機関を受診していない場合で、大会当日発熱が無い者は受付にて確認する。 *詳細は2-(1)-3)-④参照
 - ⑤ ワクチン接種による発熱の場合は、チェックシートの日にちに「ワクチン」と明記し、「チェック項目 ⑨ その他(自由記述)」の枠にもその旨を記入すること。

2 大会中の対応

(1) 健康チェックシートの取り扱いについて

1) チーム関係者【チーム責任者（感染対策責任者）】

- ① 第1週試合日の集合時、会場の外でチーム全員の健康チェックシートを集めます。
その際、チームメンバーの体調観察及び健康チェックシートの確認（発熱、記入漏れや不備）をする。
- ② 当日、発熱(37.5°C以上)があつたり、体調がすぐれない者がいた場合、大会参加を見合わせる。
- ③ 健康チェックシートの起床時体温の発熱(37.5°C以上)に赤丸をつける。
- ④ チェック者（赤丸や自由記述がある者）のシートを束の上部に集める。
- ⑤ 受付時にチーム全員分の『健康チェックシート』をまとめて『表紙』に必要事項を記入のうえ受付担当者に提出する。
- ⑥ 翌日や翌週に試合や補助員としての動員がある場合、解散前に受付ブースで『健康チェックシート』を受け取る。チームメンバーに再配布し、翌日や翌週の提出に向けて、記入の指示をする。
- ⑦ 第2週の試合日は、同様に①～⑥を行う。

2) 大会役員、審判員、補助員

大会役員、審判員及び補助員は各会場受付ブースに提出する。

3) 主催者

- ① 会場作成者は会場入口付近に『チーム受付ブース』を設置し、受付担当者（役員）を配置する。
(会場の構造によって入り口付近に受付ブースを設置できない場合は、ステージ等に設置する)
- ② 受付担当者は受付ブースでチーム責任者から提出された『健康チェックシート』を確認し、『表紙』に確認印（or サイン）をする。
- ③ 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。
- ④ チーム責任者とチェック項目がある者を呼び、「チェック項目①～⑨」の確認作業を行う。
問題がなければ参加可能を指示し、問題がある場合は帰宅を促す。
- ⑤ 『健康チェックシート』を解散前に受け取りに来たチーム責任者に返却する。
- ⑥ 提出された『表紙』は主催者が保管（3か月）するので返却しない。
- ⑦ 主催者は試合が終了したチームの『健康チェックシート』を保管する（3か月）。

(2) 受付、入場について

- ① 受付時間は、第1試合は試合開始60分前、2試合目以降は試合開始90分前とする。
- ② 受付後は主催者の指示、会場掲示等に従い、速やかにウォーミングアップ（以下：W-up）の会場・場所に荷物、シューズ等を持って移動する。
- ③ フロア（ベンチ）への入場時間は試合開始20分前とする。前試合が遅延した場合は、消毒作業終了後、入場とし20分後に試合を開始する。（複数コートの場合は遅延したコートに合わせる）

(3) 会場内

- ① コート上を除くすべての方がマスク着用をすること（各自準備する）。屋外で2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。
- ④ 昼食をとる場合は、距離を十分とって対面を避けて食事すること。
- ⑤ ギャラリーでの観戦は試合の当該チームのエントリー外選手とし、待機できるのは主催者により許可されたチーム関係者、補助員とする。
- ⑥ 更衣室の使用については主催者の指示に従い、密にならないようにすること。
- ⑦ 荷物、下足は各自が持つてフロアに入場する。（待機場所や更衣室に置きっぱなしにしない）
- ⑧ 前試合のハーフタイムの試合コートでのW-upは行わない。屋外でのW-upを原則とするが、屋内施設でW-up場所を確保できる会場では使用しても構わない。使用後の消毒作業はチームの責任で行う。
- ⑨ 試合が2試合あるチームは主催者が指示する場所で待機し、不要な接触を避けること。
(円陣、握手、ハイタッチ、向かい合っての飲食等)

(4) 試合

- ① 指導者・スタッフ・ベンチに座る選手は、マスクを着用すること。マスクの管理は各自が責任を持つこと（保管用のビニールを準備する、番号・氏名を記入するなど）。
- ② プレー以外の円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。
- ③ タオル、ボトル等、すべてのものを共用しないこと。
- ④ ベンチでは可能な限り間隔をとって着席する。
- ⑤ コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意する。
- ⑥ 試合前、試合後の審判、相手ベンチへの挨拶はキャプテンのみとし、握手は行わない。
- ⑦ W-up時や試合中にチームで統一されたかけ声や応援は控える。
- ⑧ 試合が終了し選手退場後に、顧問が責任をもってチームベンチエリア内の消毒を行う。
各チームは消毒に必要な物品（アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋、ゴミ袋）を準備する。消毒作業で出たごみは各チームで持ち帰る。
- ⑨ 試合のビデオ撮影（記録用）をする場合はエントリー外の選手がギャラリーで撮影する。エンター外の選手がいない場合は事前に主催者に相談する。

(5) TO、CKについて

- ① TO席は長机2つを配置し、TO4名が可能な限り距離をとって着席する。
- ② TO、TO主任、CKはマスクを着用する。
- ③ 試合終了後、TO主任・審判は協力しTO席、TO操作盤、筆記用具、CK席、モップの消毒を行う。この消毒作業に必要な物品は大会主催者が用意する。

(6) その他

- ① 高校会場においては大会役員、顧問以外は敷地内駐車禁止とする。車両の乗り入れは送迎乗降時の停車のみに限る。係や案内掲示の指示に従うこと。
- ② ごみは、各自責任をもって持ち帰ること。
- ③ 手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。総務が準備し、会場校が掲示する。
- ④ 手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。大会主催者が準備し、会場責任者が設置する。
- ⑤ 会場備品、ドアノブ、トイレ等の消毒を1試合おきに行う。大会役員が行う。
- ⑥ 窓・ドアの開放や大型扇風機、サーキュレーター等の利用で可能な限り換気を促す。
- ⑦ 試合、TO、役員業務が終了した参加者は速やかに帰宅する。
- ⑧ 役員、審判員の飲料等は各自準備する。
- ⑨ 審判は原則1試合とするが、2試合の割り当てとなる場合もある。
- ⑩ 県高体連ではSNSへの静止画・動画のアップロードを禁止している。試合のライブ配信についても禁止とする。
※ 主催者側でも常設するが、除菌シートやアルコールスプレー等の持参の協力を依頼する。

3 不測の事態の対応

(1) 削除チームについて

体調不良者等が原因で人員不足となり出場不可となったチームは「削除」となるが、処分の対象とはしない。

不可抗力によって大会参加を辞退する場合、主催者（感染対策責任者）に連絡を入れること。
(連絡先はチームに通知する「連絡事項及び注意事項」に掲載)

(2) チーム内に感染者、濃厚接触者、接触者が発生した場合の対応について

*保健所からの指示を最優先とし、以下の1)～3)の対応を目安とする。

*チームとは、引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャー、選手だけではなく、活動とともににするエントリー外の選手、マネージャーを含む。

	15日前まで	14日前～4日前	3日前～1日前	大会当日
1) 感染者発生	●	×	×	×
2) 濃厚接触者発生	●	▲	×	×
3) 接触者発生	○	○	○	○

1) チーム内で感染者が発生した場合

- ① 15日前まで：『●』チーム全員の状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ② 14日前～4日前：『×』参加辞退
- ③ 3日前～1日前：『×』参加辞退
- ④ 大会参加日当日：『×』参加辞退

2) チーム内で濃厚接触者が発生した場合

- ① 15日前まで：『●』チーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ② 14日前～4日前：『▲』濃厚接触者本人は参加辞退
チームはチーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ③ 3日前～1日前：『×』参加辞退
- ④ 大会参加日当日：『×』参加辞退

3) チーム内で接触者が発生した場合

- ① 15日前まで：『○』チーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ② 14日前～4日前：『○』チーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ③ 3日前～1日前：『○』チーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能
- ④ 大会参加日当日：『○』チーム全員の健康状態が良好で、健康チェックシートのチェック項目に該当がなければ参加可能。

(3) 会場校が休校になった場合

大会開催が可能で会場校が休校となった場合、会場を変更して大会を開催する。
(開催地域全体が休校となるレベルであれば、大会開催自体が難しい)

(4) 休校等の出場について

- ① 休校中の学校のチームは、出場不可となる。
- ② 学級閉鎖の場合は、その学級に在籍する生徒は出場不可となる。
- ③ 学年閉鎖の場合は、その学年に在籍する生徒は出場不可となる。

(5) 大会期間中に参加者に感染者が出た場合

感染者発覚の時点で、速やかに主催者（感染対策責任者）に連絡を入れること。（連絡先は別途通知する）。その場合は、大会は中止とする。

(6) 3 - (2) - 1) ~ 3) 及び、大会後2週間以内に参加者に感染者が出た場合には、速やかに主催者（感染対策責任者）に連絡すること。

以上